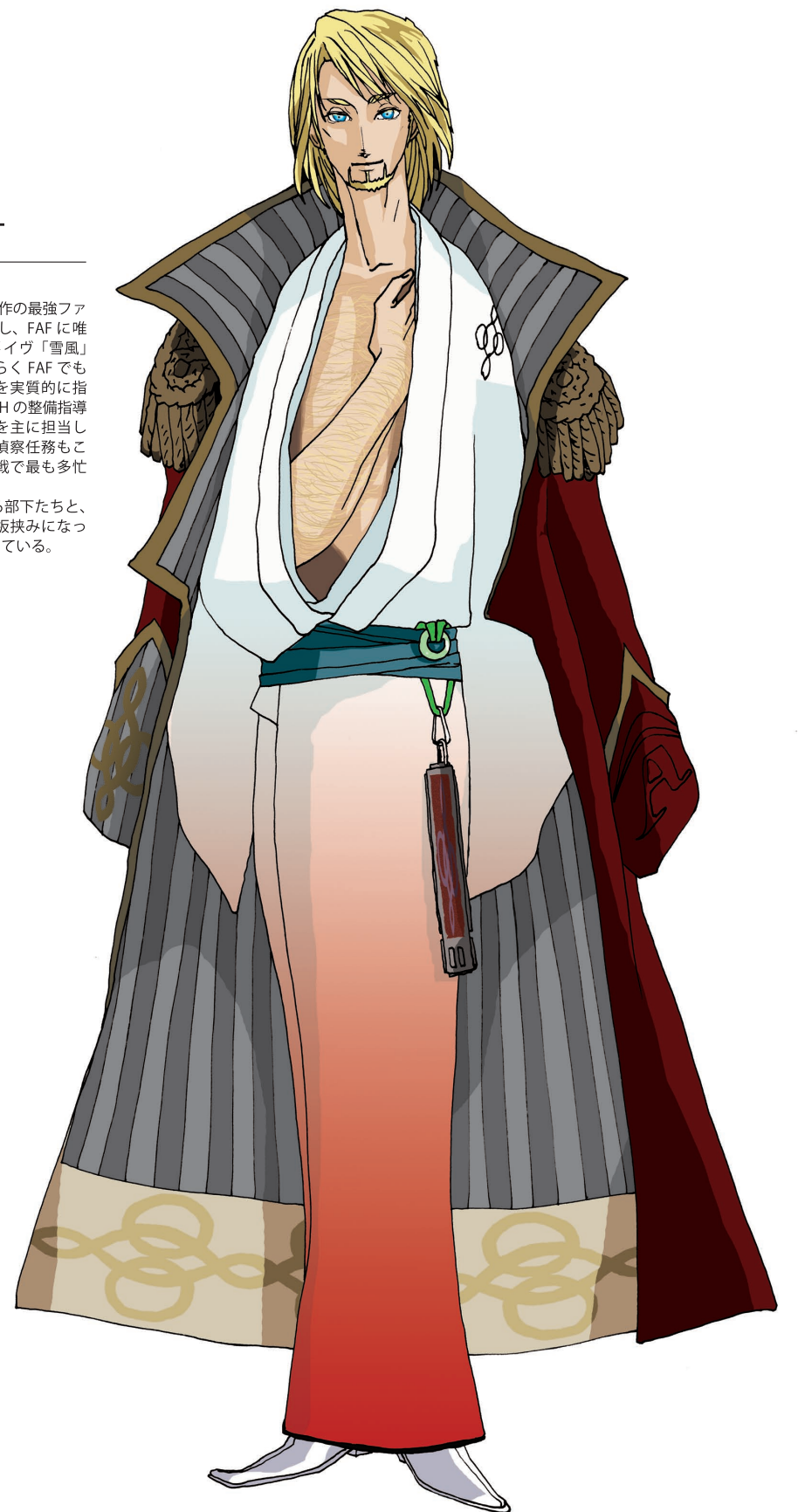




ジェイムズ・ブッカー JAMES BUKHAR

FAF 少佐 特殊戦所属

天才科学者リン・ジャクスン作の最強ファティマ、零をパートナーとし、FAFに唯一機しか存在しないMH・メイヴ「雪風」を駆ることを許された、恐らくFAFでも最強クラスの騎士。特殊戦を実質的に指揮する総監の地位にあり、MHの整備指導や人員のスケジュール調整を主に担当している。そればかりでなく偵察任務もこなし、自他共に認める特殊戦で最も多忙な人物である。

一筋縄ではいかない癖のある部下たちと、難題を持ち込む上層部との板挟みになって苦労の絶えない日々を送っている。



「事故」より少し前のブッカー。若さゆえか、FAF(というより世の中か)への懷疑が目には宿る。左肩に特殊戦を示す黒のピロード。右目に異常はないがモノクル。雪風のお披露目のおりに着ていたのはこの中の服。

呼び名を「ヘッドライナー」(天を取る者)という。彼らの出現の後、従来の手段での戦闘・戦争は無意味となった。そして騎士は通常の人間に代わり戦争の全責任と栄光を受け持つ「戦争の代理人」としての立場を担っている。

地球南極点から一〇〇〇キロの地点「ジャム」と呼ばれる異星体の地球侵略用「通路」を抜けた先にある未知の惑星、フェアリー。地球が初めてジャムと接触して以来、今や地球防衛機構の主力であるFAFが、正体・目的共に不明の異星体の侵攻をフェアリー星で食い止めている。ジャムはその正体と同じく、動力も装甲材も何もかもが未知数であることを除けば、人類側と同じMH型の兵器を使用している。そしてFAFとジャムの戦力はほぼ拮抗しており、現状では戦局は膠着状態に陥っていた。

ジェイムズ・ブッカー少佐——彼は「騎士」と呼ばれる人種である。騎士とは超人的な身体能力と反応速度を持ち、一人で一国の軍隊以上に相当する戦闘力を備えた人間のことで、またの

合わないファクトリー製のファティマだったために家から勘当されたというものがある。しかし噂は噂に過ぎず、真偽のほどは定かではない。

FAFに所属して以降、彼は驚くべき異例のスピードで昇進した。特殊戦に配属され、そこでも非凡な優秀さを発揮する。しかしある時、出撃時に遭遇した事故でMHとパートナーを同時に失ってしまった。事件の詳細はFAF内でも極秘扱いとされ、彼は降格処分となった。この事件に対する上層部の態度や事実を歪めた公式発表などから組織に対する不信感を抱き自暴自棄となった彼は、以来飼いの殺しの状態で数十年を過ごすことになった。今では目立たなくなっているが、この事件の折に負った頬の傷と当時の荒れた素行から、陰では「切り裂きジャック」

という不名誉な通り名で知られるようになる。

そうして長く現場からは遠ざかっていたが、任務で派遣された先の地球で放浪中のロストファティマ、零と出逢い、彼をフェアリーに連れ帰る。その後、思わぬ事態がきっかけで初陣のメイヴに搭乗することになる。荒んだ精神状態が長かったために失いかけていた騎士の本能をその戦闘のさなかに呼び起こされた彼は、零に自分を選んでくれと願った。零は彼を選び、ブッカーは彼と、雪風の名を与えられたメイヴと共に、再びフェアリー戦争の表舞台に立つことになった。